

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(3/9)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの 平均値に IIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
森林総合産業特区(下川町)	正	A 5.0	A 4.5 進捗度 ・林業・林産業生産額 103% ・林道網整備 123% ・木質バイオマス原料量 108% 等	A 4.6 規制の特例等 ・無登録の林業機械の公道走行 等 財政支援等 ・高密度連絡路網整備事業 等 地域独自の取組 ・私有林整備支援事業 等	+0.50	<p>・間伐材・林地残材のバイオマス利用が計画以上に進展(※1)していることは高く評価できる。</p> <p>・路網整備や高機能林業機械の導入による効果の発現は次年度以降に期待(※2)する。</p> <p>・共同施業団地化推進事業にどのような効果が上がったのかを次年度以降記述されたい。</p> <p>(※1)間伐材等の木質バイオマスを原料としたボイラーの公共施設への導入が進められている。 木質バイオマス原料量(平成25年度目標)7,700t、(実績)8,326t、進捗度108%</p> <p>(※2)評価書において、「平成25年度に高性能林業機械の導入・改良を行ったが、年度末に近い時期に導入した等の理由により、平成25年度の生産効率向上の数値に反映されなかった。平成26年度については年度当初から高性能林業機械を活用することで、生産効率の向上が見込まれる。」とされている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。
(注)「総合評価」は5.0を上限とする。

*2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。